



都高 P 連会報

発行：東京都立高等学校 PTA 連合会（都高 P 連）
編集：都高 P 連

事務局：〒101-0048 東京都千代田区神田司町 2-7-6 鈴木ビル 3F
TEL：03-3294-0281 FAX：03-3294-0283

都高 P 連会長選挙

にこにこ

立候補者の公示

平成二十二年一月二十三日に告示しました、平成二十二年都高 P 連会長選挙は、会則第五条・第六条、施行細則第三条および「会長選挙に関する規定」に基づき、立候補の資格審査を行いました結果、左記の二名を立候補者として受け付けました。

○高橋多佳子

中部南地区所属

○近澤 五月

西部南地区所属

開票結果

- ・全投票構成数 115 票
 - ・有効投票数 66 票
 - ・無効投票数 2 票
-
- ・高橋多佳子 48 票
 - ・近澤五月 18 票

会長選挙

平成二十二年二月二十八日、国立オリンピック記念青少年センター棟三F三〇九号にて、会長選挙が行われました。

立会演説会、投票、開票審査の結果、高橋多佳子氏が会長に当選しました。



吉村選挙管理委員長の説明



開票作業中

高橋会長の挨拶

平成二十二年度の都高 P 連の会長を務めさせていただきます。どうかよろしくお願います。

平成二十一年度は、平成二十年八月二十四日発覚した、前事務局員による不正会計事件に端を発し、さまざまな組織の課題が顕在化した結果、混乱を招き、退会校が出てしまったなかでの厳しい出発でありました。また、六月末には二十年度臨時会長であり、二十一年度の会長に決まっていた石居靖彦氏の急死という悲しい出来事もありました。単位 P T A 会長の皆さん方にご心配をおかけしてきたことに都高 P 連執行部を代表しましてお詫び申し上げます。

場の声を教育行政に反映させるのが都高 P 連の一番の役割と任じ、二十年度後半から地区や単位 P T A の情報交換会の折に皆さんから上げられた要望を陳情として八月に提出しました。都議会十二月定例会で、カウンセラーの全校配置を初めとした意見付き採択との一定の成果を勝ち取る事ができました。実現に向けてはまだまだ粘り強い今後の推進力が必要とされます。

今後の活動ポイント

◇地区を主体とした活動の一層の定着、活性化に主眼をおいた、都高 P 連本体の活動のスリム化を含む単位 P T A 支援の充実

◇都に対して、都立高校への設備・器材を含む教育環境の充実に対する実効性ある施策を求めていく
◇キャリア教育の充実
◇広報活動の充実
◇組織の整備、財務の整備

そのなかで、単位 P T A 会長の皆さんの現

～ 目次 ～

- ①都高 P 連会長選挙の結果 高橋会長の就任挨拶
- ②～③ 単 P からの活動報告
- ④地区からの活動報告
- ⑤東京都教育委員会委託事業 P T A リーダー研修会 選挙管理委員会のお知らせ
- ⑥～⑦ 第 60 回全国高等学校 P T A 連合会大会東京大会 最新状況
- ⑧平成 21 年度スローガン

委員会、学校経営支援センター、校長協会との緊密な連携が醸成されてまいりました。役員派遣を通じて教育関係諸団体、幼、小、中、特別支援、定時制通信制、単位 P T A の同窓会とも交流ができました。日本の未来を背負う子どもたちが希望を持つて社会に船出できるように、健やかな学校生活の応援団を標榜する我々が手を携えていく活動に一層のご理解とご協力をお願いいたします。



高橋会長の就任挨拶

二十一年度の活動では、未整理のまま、パワー不足で目指すものを十分に活動に生かすきれなかつた点があり、率直に反省してお

平成21年度 単P活動報告 その1

鷺宮高校

もちつき大会

実施日 平成21年12月28日(金)
場所 都立鷺宮高校
参加対象者 総勢800名
1年生全員、2年・3年の有志20団体、先生方、PTA、若宮幼稚園の園児

概略 67キロのもち米を蒸し、各自が持ち寄った大根おろし、納豆、キムチから変わり種では板チョコ、チーズ、抹茶、ポテチ、イチゴ大福、カレーもち等の珍味で食する



文京高校

講演会(進路指導)

実施日 平成22年2月27日(土) 15:00~16:30
場所 都立文京高校 視聴覚室
講師 五十嵐 俊也氏
(ベネッセコポーレーション 東京本部)

テーマ 「親子で考える進路選択」
～意識を変える。未来を変える～

参加対象者 約50名(学校長、副校長、1・2年の保護者)
概略 AO入試、指定校推薦、センター利用入試など最新情報、国公立大学合格のポイント、受験に向けての計画書作成など、大変有意義な講演会であった。



井草高校

進路寺子屋 Part4(進路講習会)

実施日 平成22年1月16日(土) 10:00~12:00
場所 都立井草高校 視聴覚室
講師 武藤 亮先生(進路指導主任)

参加対象者 73名(保護者)
概略 井草生の合格実績や入試の取り組み方など身近な情報をもとに、早い時期から入試についての知識を得る、保護者向け勉強会です。最近では熱心な在校生の聴講もみうけられます。
「figusa 夢 project」も3年目を迎え、徐々に成果を顕しています。

南多摩高校

校内大掃除

実施日 平成22年2月22日(月)
概略 一般入試を翌日に控えた2月22日、本年度最後の校内大掃除を行いました。当日は美化・リサイクル部員13名、本部役員2名が出席し、トイレや洗面所を清掃しました。終了後は温かいお茶の差し入れをいただきました。お手伝いしてくださった本部役員さん、ありがとうございました。



農業高校

もちつき大会

実施日 平成22年2月6日(土)
場所 都立農業高校 神代農場
参加対象者 総勢60名(生徒、先生、PTA、留学生、都高P連、農P連、PTA OB会等)
概略 多摩の自然が残る神代農場(調布市深大寺)の中、薪ストーブで、蒸した30キロのもち米を搗きました。小豆やキナコ、生徒が栽培した大根で作った大根おろしは格別、豚汁とともにお腹いっぱい食べました。

平成21年度 単P活動報告 その2

拝島高校

クロスカントリー(マラソン)大会

実施日 平成22年2月10日(水)
概略 マラソン終了後、PTA特製の「豚汁」を振舞いました。
前日より仕込んだ量は、なんと約600名分!!
教職員を含め「おいしかった!!」と絶賛され、寒さも吹き飛びました!!



大山高校

講演会

実施日 平成22年1月16日(土) 10:00~
場所 都立大山高校 視聴覚ホール
講師 竹本孝之氏(俳優)
テーマ 「桜の国の子どもたち」
参加対象者 約50名(教職員を含む全PTA会員、近隣の皆さん)

竹早高校

PTA講演会

実施日 平成21年10月31日(土) 13:30~15:00
場所 校内大会議室
講師 越川禮子先生(NPO法人江戸しぐさ理事長)
テーマ 「江戸しぐさ 一人間関係を円滑に」
参加対象者 34名、PTA会員(保護者及び教職員)

竹早高校

PTA研修会

実施日 平成21年11月14日(土) 14:00~16:00
場所 校内大会議室
講師 美容サロン経営者及び店長
テーマ 「リンパマッサージ講習会」
参加対象者 36名、PTA会員(保護者及び教職員)
参加費 1,000円

小石川高校・中等教育学校

PTA講演会

実施日 平成21年11月14日(土)
場所 多目的ホール
講師 金井勇一郎氏(舞台美術家、本校の卒業生)
テーマ 「世界で舞台を作る」
参加対象者 生徒・先生合わせて約100名の参加
概略 ニューヨーク・メトロポリタンハウス等海外でも舞台美術を学んでこられた氏の、舞台装置の具体的製作工程の解説にはじまり、市川猿之助率いるスーパー歌舞伎や平成中村座の海外公演での舞台づくりの苦労話や逸話などがあり、「NINAGAWA 十二夜」での鏡を用いた斬新な演出のスライドの際には皆さん感心しきりでした。参加した生徒からの質問もありました。

東大和高校

講演会



実施日 平成21年11月28日(土) 13:30~15:00
場所 都立東大和高校 視聴覚室
講師 池谷 幸雄氏
テーマ 「夢は果てしなく永遠に」
参加対象者 140名(保護者・教師・生徒)
概要 池谷氏が体操を始めたきっかけや、2度の大けがを克服したことなどのエピソード。計画的・効率的かつ大会をイメージした緊張感を持った練習、などお話いただき、参加した生徒たちの参考になったと思います。二つのオリンピックで獲得した銀メダルに触れることができました。

平成21年度 地区の活動報告

中部南地区 講演会

実施日 平成21年11月21日(土) 13:30~16:00
テーマ 「子離れ 親離れ一真の自立に向けてのコミュニケーションとは？」
講師 太田喜子氏(家庭教育LABウィズ代表)
場所 都立園芸高校
参加者 学校長・副校長・PTA会長、役員または会員

晩秋の穏やかな午後、黄金色に輝く銀杏に出迎えられ、園芸高校の会議室にて、講演会を開催致しました。今回の企画は来る第60回全国大会 東京大会のプレ企画として、皆さんと学びを深める事を目的とし、実施致しました。

講師は、家庭共育LABウィズ代表・家庭教育アドバイザーとして活躍されている太田喜子氏(狛江高校 副会長)にお願いし、「子離れ 親離れ一真の自立に向けてのコミュニケーションとは？」をテーマにお話をいただきました。

「家庭教育・・・」は私たちにとって、身近で大切な学びでありながら、改めて確かめ合うゆとりを見出せないまま、また、いつでも出来るからと後回しにしがちなテーマではないでしょうか。

太田先生の相談室では、具体的に、子どもの不登校・学級崩壊・いじめ等にまつわる、心の問題に取り組まれています。今回はそこでの事例を数件、相談者の了解を得た上で、紹介していただきました。

問題を引き起こしている子どもの多くの実態を調べてみると、実は親の過保護・過干渉・無関心が原因である場合が多いのだと、言う事です。子育ての大前提は、子

どもにしっかり寄り添い、見守り、必要な時に必要なだけ支援をする事。保護者は子どもの最大の支援者でなければいけない事を改めて学びました。

太田先生は、自分の性格や過去を変えることは出来なくても、少しの心掛けさえあれば、楽に深呼吸できる事・物事を多角的に見つめる方法があることをお話しになりました。そして、太田先生が強く訴えられたのは、些細な事でも実行する事、そうすると嘘の様に状態が変わって来るそうです。参加された皆さんは、気持ちが楽になるとともに、何かひとつでも実行しようという心で誓った事と思います。

太田先生の力強く明るい、ユーモアあふれるお話しは参加者の心を和ませました。笑いあり、感動あり、大変有意義な時間を過ごす事ができました。

今後とも、中部南地区は、来る60回全国大会に向け、担当する分科会のサブテーマ「大丈夫！保護者が変われば子どもも変わる」を掲げ、発信し続けてまいります。少しでも皆様に寄り添い、お力になれば幸いです。

中部南地区 地区長 調布北高校 加藤勇一



太田喜子氏



熱心な保護者

中部北地区 第1回情報交換会

実施日 平成21年10月17日(土)
テーマ 第1回中部北地区情報交換会
場所 都立田柄高校
参加者 129名(田柄高校除く)

中部北地区では、年度当初の事業計において、会長会以外の場で各校の役員・委員会レベルでの情報交換がしたい！との意見が出ました。実施するにはかなりの人数を収容する会場が必要でしたが、田柄高校の村越校長、P会長、役員の皆様の全面的なバックアップのもと、田柄高校の体育館、会議室など多数の施設をお借りして、秋晴れの土曜日の午後、中部北地区の「情報交換会」が開催されました。

体育館での開会宣言、挨拶のあと、会長・副会長、書記、会計や各委員会の部門別に別れて、日頃の悩み事や各学校の特徴的な行事など、情報交換を行いました。

書面ではなく、直接、顔を合わせての情報交換は、時に話が脱線したり、お悩み相談のようになって「そうそう！！全くその通り！」と全員が大きく頷いたり、「うちにも取り入れたい！」と真剣に質問が飛び交うなど、各会場とも盛り上がりました。

ここ数年の各校での悩みは連絡網・PTAからのメール配信・役員選出・予算関係など共通事項が多数あり、どれもすぐに答えの出る問題ではありませんが、これからは単Pが悩みを抱えるのではなく、地区として情報を共有して問題解決に繋がるように努力をしたいと思います。

中部北地区 地区長 大泉高校 青木真佐枝



青木地区長の挨拶



田柄高校体育館にPTA集合



館野会長の挨拶



情報交換会の様子

平成21年度 東京都教育委員会委託事業

東京都高等学校PTAリーダー研修会

「キャリア教育とPTA」 ～子どもの自立への保護者の役割～

日時 平成21年1月31日(土) 14時00分～16時30分
場所 国立オリンピック記念青少年総合センター セミナーホール
講師 染谷 忠彦 先生(女子栄養大学 常任理事 進路アドバイザー)

平成二十一年度の東京都教育委員会委託事業、東京都高等学校PTAリーダー研修会「キャリア教育とPTA」(子どもの自立への保護者の役割)が、国立オリンピック記念青少年総合センターにて多数の保護者を集め平成二十二年一月三十一日に開催されました。

講師は、女子栄養大学 常任理事 進路アドバイザーとして活躍の染谷忠彦先生をお呼びしました。先生は、多数の講演をなされる傍ら、読売新聞の「拝啓」の欄にも執筆されており、長年大学に勤務される中で、二十数年前から学生が変化してきたことに気づかれ、その背後に家庭の変化を認識され、親学を通して子どもの自立、キャリア教育の指導されております。

家庭でのキャリア教育

講演では、冒頭に少子化で、大学全入時代と称される中、私立大学の競争が激化し、国立大学が優位に立つ

ている一方で、大学卒業後の就職率では、前者が五十%弱であるのに対し、私大が八十%と逆転することを示され、国立に入ることで将来を約束されたとの錯覚を抱かぬようのご指摘がありました。

子育ての究極の目的は自立にあります。親は子どもを社会に巣立たせなければなりません。しかし社会で安定的に求められる人材は七割であり、ニート・フリーターと大卒では、生涯年収に大きな開きがあること。これら子どもにも認識させ、自分で将来のライフプランニングを作らせること、教育を自分への投資と捉えさせることが重要とのことでした。

また、大学に合格した段階で、援助は大学までとの誓約書を親子で取り交わすことにより、社会へ出ていく気構えを持たせることとなり、家庭におけるキャリア教育の第一歩となるのご指摘でした。

子どもの自立に向けて最近の大学事情は、親世代と大きく様変わりしていることから、子どもの進路選択のためには、親子共々で大学に来てオーブンキャンパスだけでなく、普段の教育環境を見るのが重要です。進路選定に際しては、親はあくまでも、子どもの良き相談相手として接し、子どもの前を歩かないこと、親は、子どもの生活リズム、食生活をきっちりさせ、子どもを健康に保つ役割をもつこととのことでした。

子どもはリーダー(家庭では親、学校では先生)の背中を見て育ちます。私たちは、子どもの喜怒哀楽を共有し、集団生活をさせることで子どもを自立させ、色々なことに耐えられる逞しい大人に育て上げる使命を持ってまいります。

多くの参加者に家庭の役割の重要性を改めて再認識させる講演会となりました。



染谷忠彦 先生



質問をするPTA関係者



講義風景

選挙管理委員会からのお知らせ

都高P連の会長・副会長選挙に関する実務を円滑にするために、「選挙管理委員会規程」が定められています。この規程に基づき、各地区より1名の選挙管理委員が選出され、

- ・選挙の告示及び再告示
- ・立候補届出書および所信表明書の受付、資格審査、追加募集
- ・選挙資料および選挙公報の送付
- ・投票及び開票実務
- ・立候補者不在時の副会長推薦の立会い
- ・選挙資料の開示、選挙の異議申し立ての受付
- ・選挙の確定と選挙結果の開示発表

等を行います。

副会長選挙

1. 日時
平成22年3月14日(日)
19:00～
2. 場所
国立オリンピック
青少年総合センター
センター棟310号室



第60回全国高等学校PTA連合会大会 東京大会

大会テーマ : 人間力を育てて作ろう 大きな輪 ～家庭・学校・地域・社会 心と心をつなげよう～

早いもので、東京大会まで後五カ月となりました。各地区や専門部会での準備が着々と進んでおります。単位PTAでは年度替わりとなりまして、ここで改めて、全国大会の目的、東京大会で実現しようとしていることなどについて簡単に紹介しましょう。

全国大会とは

本大会は全国高等学校PTA連合会が主催し、開催県のPTA連合会が主管となり毎年開催する大会です。今年度は、都高P連が主管となり、東京都、文部科学省、全国高等学校長協会の後援を受け、本年八月十九日、二十日、二十一日の三日間、日本武道館をメイン会場に、また東京大学安田講堂、昭和女子大学人見記念講堂、早稲田大学大隈講堂、九段会館、日本青年館、日比谷公会堂を分科会会場として、全国から一万名以上の高校PTA関係者が集い研鑽する歴史ある大会です。

大会テーマと日程

大会では「人間力を育てて作ろう大きな輪

」をメインテーマに、また「家庭・学校・地域・社会 心と心をつなげよう」をサブテーマに掲げての開催となります。日程としては、十九日を関係者による事前打合せ日、二十日朝(二十一日正午を本番とし、式典、アトラクション、二回の講演会が行われます。

また、二十日午後には、七つの分科会会場に分かれ、家庭教育、進路指導、生徒指導、家庭教育とPTA活動について論じ、また特別テーマとして、多様な化する学校やキャリア教育に焦点を当てたもの、高校生の生の声を聞く企画など、様々な切り口での講演、助言、パネルディスカッションなどが行われます。

取り組むべき課題

今、子どもたちを取り巻く環境が大きく変わりつつあります。右肩上がりの成長の時代から、停滞あるいはマイナスに振れる変化の時代に移行してきており、その影響は確実に家庭に及び、子どもたちの生活(食事、生活リズム)も基盤を揺るがしつつあります。

また、少子化に加え、携帯やインターネットの普及、個食の増加は子どもたちの社会性に大きな影響を与えています。

一方、保護者の意識の変化も見逃せません。保護者自身の社会性の低下、過干渉は子どもの自立を妨げ社会への参加意欲を低下させています。子育ての目的は「子どもの社会的自立」にあります。そして、変化の大きい世の中で、子どもたちが社会にこぎ出すには、「生きる力」と「柔軟性」が必要です。

子どもたちは、家庭・学校・地域を行き来しながらボスの背中を見て育ちます。家庭では、保護者が、また学校では先生がボスとなります。見習うべき大人が連携せず家庭と学校が離反している子どもたちはそれをまねるので、連携の必要性がここにあるのです。

また、子どもたちが、「生きる力」と「柔軟性」を獲得したとしても、社会参加の機会が与えられなければ自立が始まりません。社会的な仕組みが求められ

るところです。将来の社会の担い手ある子どもたちが、自律的に社会の中で生き抜き、社会との係わりの中で才能を開花させていくことこそが我々保護者の願いです。そのためにも、家庭・学校・地域・社会が課題を共有し、連携して課題解決に向けて取り組む必要があるのです。

東京大会で目指すもの

東京大会では、全国からの事例発表を元に、各分科会において様々なテーマを切り口に課題を掘り下げます。また、助言者からのアドバイスにより課題が整理され、また、各地のPTAの取り組みは参考となります。この他に大会を通じて以下の実現を目指したものです。

保護者の成長

主管として、大会を企画し創り上げることが我々保護者自身の成長に繋がります。「保護者が変われば子どもも変わる」大会やPTA活動において様々な人達と関わるこそが、我々の社会性と人間的成長

をもたらすきっかけとなります。

未来を創るキャリア教育と子どもと地域を育むPTA

社会参加意欲に乏しく、社会性にも乏しい子どもたちが、夢を抱き、社会に積極的に参加する中で、それを実現していくことを促す仕組みとして、PTA組織と学校・地域・社会が連携し、様々な経験を有する大人が自らの職業や社会経験を語る仕組み、インターンシップ受け入れ先の積極的な協力体制を大会をきっかけに構築していきたいと思えます。

子どもたちの身体を守る

高校生は、身体は大人となり性活動も盛んになってくる時期です。しかし、保護者や大人の認識と実態には乖離があるとの報告があり、今後、性感染症の増加、AIDS患者の増加につながる懸念があります。大会では、記念講演を京都大学大学院医学研究科の木原雅子先生にお願いしWYSH教育への協力、子どもたちの身体を守る活動に繋げて

いきたいと思えます。

アトラクション

アトラクションは、それ自体に人を惹きつける力があります。本大会では、日本武道館や人見記念講堂、九段会館を始めとする素晴らしい会場で行われます。アトラクションには東京の高校のレベルの高さ、素晴らしさを全国に示す演目を準備しております。また、軽音楽とダンスにつきましては、K音&Tダンスコンテストを勝ち抜いたチームが武道館でパフォーマンスを行います。元気の良い、素晴らしい演奏や演技が期待されます。

そして最終日のクロージングでは、フィナーレを飾るに相応しいアトラクションを準備しております。子どもたち、PTAが一体となり、武道館全体でハートモニを体感し、一体感と調和を体験してもらいたいと思えます。ご期待下さい。



第60回全国高等学校PTA連合会大会 東京大会 最新概況

K音&T.Dance グランプリ地区予選会

地区	種別	出場 チーム数	実施日	会場
西部北	ダンス	6	4/2(金)	五日市会館
	K音	2		
西部南	ダンス	9	4/3(土)	富士電機体育館
	K音	7	3/21(日)	町田工業高校
中部北	ダンス	4	3/29(月)	西東京市 きらっと
	K音	3		保谷こもれびホール
中部南	ダンス	3	3/20(土)	芸術高校
	K音	4	3/27(土)	調布北高校
東部北	ダンス	☆ビデオ応募による公開審査 3/19(日) 地区予選エントリー締切 3/30(火) ビデオ(オーディオDVD)受付締切 4/3(土) 公開審査会 工芸高校視聴覚ホール 午前9:00～、午後13:00～		
	K音			
東部南	ダンス	2	4/17(土)	八潮高校
	K音	2		



グランプリのポスター

決定！ポロシャツのカラー

	会場	カラー	イメージ
大会本部	---	レッド	
当日スタッフ	---	ターコイズ	
第1分科会	日本武道館	ロイヤルブルー	
第2分科会	日本青年館	オレンジ	
第3分科会	東京大学 安田講堂	グリーン	
第4分科会	日比谷 公会堂	デイジー	
特別 第1分科会	九段会館	ホット ピンク	
特別 第2分科会	早稲田大学 大隅講堂	ブラック	
特別 第3分科会	昭和女子大学 人見記念講堂	パープル	

第60回全国高等学校PTA連合会大会東京大会 実行委員会の経過報告

- 1月 9日 企画部会
- 1月14日 第1回資料広報部会
- 1月16日 企画部会
- 1月21日 第12回運営委員会
全体スケジュールについて
各部会報告
アトラクションについて
- 2月 4日 企画部会
- 2月10日 第2回資料広報部会
- 2月15日 日本武道館の実踏調査
- 2月27日 企画部会
- 3月 2日 第3回資料広報部会
- 3月 4日 第13回運営委員会
予算について
契約関係
各分科会進捗状況
各部会進捗状況
- 3月22日 企画部会 ※予定
- 3月25日 第14回運営委員会 ※予定

お詫び

第59号にて、東京大会シンボルマーク作成者の名前が誤って
おりましたので訂正します。

誤 伊庭 紗千衣
正 伊庭 沙千衣

AIUの高校生総合保障制度 (こども総合保険)

私共AIUは、日本で営業を開始して早や63年が経ちました。
学校・PTAを通じた保障制度にも25年以上ものあいだ積極的に取り組み、
おかげさまで全国25,000校以上の学校・PTAにて
学生総合保障制度をご採用いただいております。

社会貢献事業「高校生国際交流プログラム」



安心・安全をひろげたい。
マングローブ植林は、
地球の未来にかけた保険です。



私たち東京海上日動は、1999年度からNGO「マングローブ植林行動計画」と「財団法人オイスカ」をパートナーに、マングローブ植林を始めました。
ひろく地球全体を「安心・安全」でつみこむために、当社はこれからはマングローブ植林をつづけていきます。

東京海上日動火災保険株式会社 東京都千代田区丸の内1-2-1 〒100-8050
TEL:03-3212-6211(代表) <http://www.tokiomarine-nichido.co.jp/>

東京海上日動

細かいところでもほめられたい。

保険をもっと便利にもっと身近に、もしもの時にお客さまを守る
個人用自動車総合保険「ONE-Step」や
インターネットによる契約と行き先別にリスクを細分した
新・海外旅行保険「off! (オフ)」など。
あったらいいな、をカタチにする柔軟な発想ときめ細やかなサービス。
21世紀、日本の新しいライフスタイルに合った
高品質の安心を力強く、ご提供します。

株式会社 損害保険ジャパン

〒160-8338 東京都新宿区西新宿1-26-1 TEL. 03 (3349) 3111
ホームページアドレス <http://www.sompo-japan.co.jp>
SJ05-12524 (2006.3.1)



森が戻ってきた。
鳥や虫や動物が戻ってきた。
みんなに笑顔が、戻ってきた。



再生プロジェクトを行っているパライヤン地区の
小学校の児童から贈られた絵。
「わたしたちを守って!」という動物たちの
メッセージをこめて、描いてくれました。

インドネシア熱帯林の再生プロジェクト

きっかけは、私たちが毎日使っている紙の原料となる木材を
少しでも地球に返したいという思い。
たくさんの生き物が暮らす森を取り戻すことで
地球温暖化を防ぎ、生物多様性を守ること。
そして、地元の人々の生活を助けること。
地元の子どもの明るい笑顔を力にして
私たちは これからも、未来を育む活動をつづけていきます。



MSIG 三井住友海上グループ
三井住友海上火災保険株式会社 www.ms-ins.com

平成21年度スローガン

子どもたちのために 信頼を築きともに学びともに育つ都高P連